

社会資本未来プラン

～社会変化に適応したインフラマネジメントの推進～

令和3年3月



目次

I 基本的事項	
I-1 策定の趣旨・位置付け	1
I-2 計画期間	1
II 本県を取り巻く状況変化・社会資本の現状	
II-1 本県の特徴	3
II-2 本県を取り巻く状況変化・課題	5
II-3 本県における社会資本の現状	7
III 施策の方向性	
III-1 基本的な取組方針	9
III-2 目指す姿・施策体系	11
IV 施策別の取組方針	
IV-1 安全・安心を支える総合的な県土の強靱化	13
IV-2 交流・連携を支えるネットワークの充実・強化	17
IV-3 魅力的で持続可能な社会を支える基盤形成	21
IV-4 社会資本の適切な維持管理の推進	26
IV-5 デジタルトランスフォーメーション（広島デジフラ構想）の推進	27
IV-6 計画的に推進するための取組	28
V 社会資本整備の優先順位	33
VI 参考資料	
VI-1 広島県社会資本関係水準データ	36
VI-2 用語解説	41

策定に当たって（はじめに）

本県では、平成 22 年 10 月に策定（平成 27 年 10 月改定）した県の総合戦略である「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す県土の将来像を実現するための分野別計画として、「社会資本未来プラン」を平成 23 年 3 月に策定（平成 28 年 3 月改定）し、戦略的・計画的な社会資本の整備や適切な維持管理等を推進してきました。

この間、平成 26 年に発生した 8.20 土砂災害を踏まえ、防災施設の整備を計画的に推進するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を一層加速させるなど、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策に重点的に取り組み、8.20 土砂災害被災地域における砂防ダム等の整備完了や県内全域での土砂災害警戒区域等の指定など、着実に事業の推進を図ってきました。

また、井桁状の高速道路ネットワークを基軸として、これら高速道路と県内観光地、あるいは空港、港湾などの物流拠点や産業集積地を結ぶ広域道路ネットワークの充実や、広島港等におけるガントリークレーンの整備等による港湾物流機能の強化、広島空港の運用時間延長や航空路線の拡充など、交流・連携基盤の充実・強化による中四国における本県の中核拠点性の向上に取り組んでいるところです。

このような中、平成 30 年 7 月豪雨災害により戦後最大級の被害が発生するなど、地球温暖化等を要因とする異常気象による大規模な災害が全国的に頻発していること、また、県内人口の減少や少子化・高齢化の進行、グローバル化の進展による地域間競争の激化、AI/IoT などデジタル技術の進展と普及など、急速に進む社会情勢の変化に加えて、新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」という。）危機がもたらした日常生活や経済活動の変容も踏まえ、防災・減災対策やまちづくりなどに、より一層スピード感を持って的確に取り組んでいく必要があります。

このように、先行きが不透明で変化が激しい社会情勢が見込まれる中、本県では、次の 10 年間においても、目指す姿とその実現に向けた取組の方向性を県民の皆様にお示しし、一緒に新たな広島県づくりを推進するため、新たな総合計画として「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を令和 2 年 10 月に策定しました。

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」が目指す、県内のどこに住んでいても、県民一人一人が、夢や希望に挑戦できる社会の実現を支えるため、今後 10 年間の社会資本分野の基本方針として、新たな「社会資本未来プラン」を策定し、これまでの成果を踏まえつつ、社会情勢の変化による新たな課題に対応した効果的かつ効率的なインフラマネジメントを推進してまいります。

I 基本的事項

I-1 策定の趣旨・位置付け

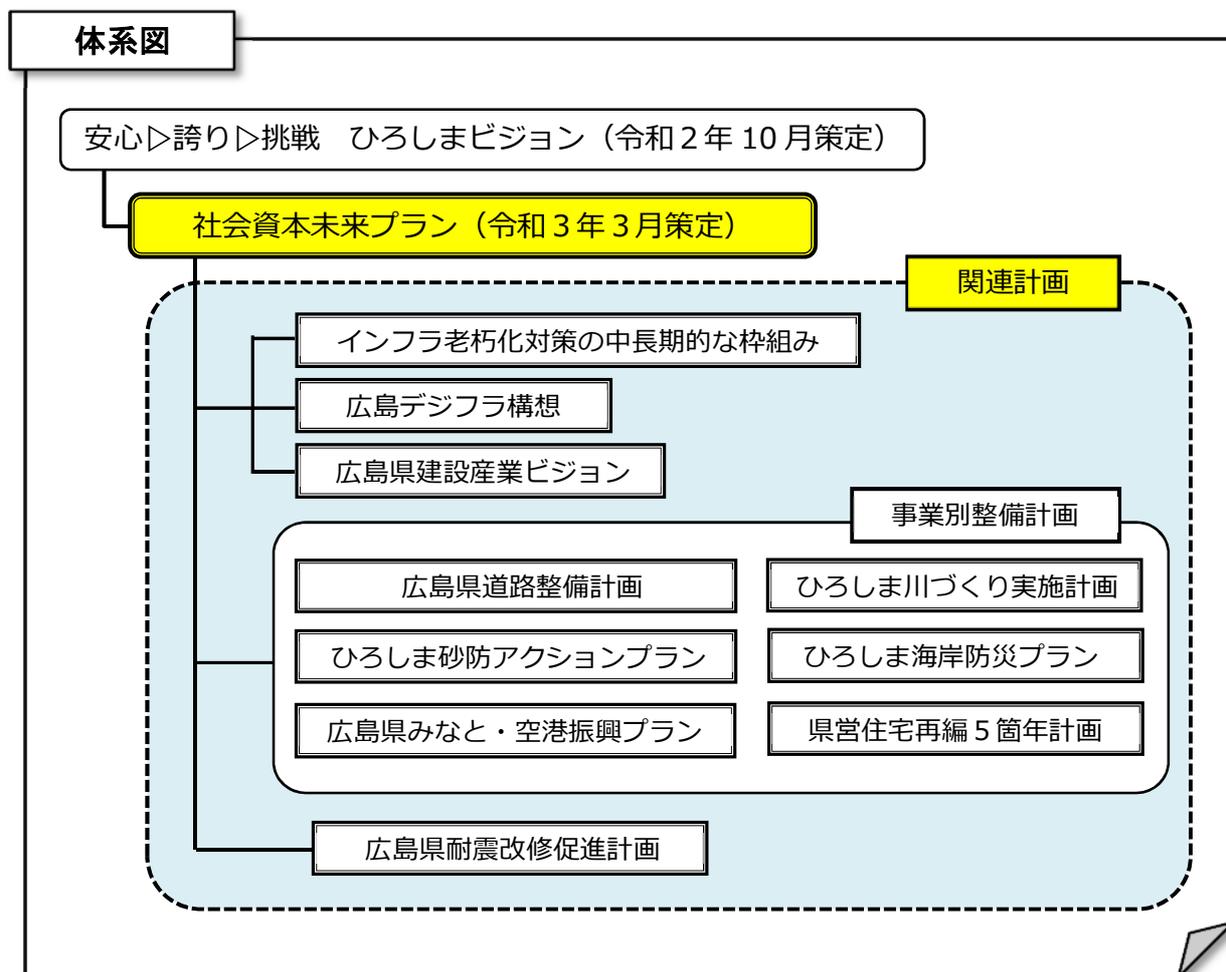
「社会資本未来プラン（以下「プラン」という。）」は、本県の総合計画である「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン（以下「ビジョン」という。）」が目指す県土の将来像を実現するための分野別計画であり、今後の取組の方向性など、社会資本分野のマネジメントの基本方針として策定するものです。

I-2 計画期間

プランの計画期間は、ビジョンが、20～30年後のあるべき姿を構想した上で、次の10年間を展望して策定されたものであることを踏まえ、同様に、令和3年度～令和12年度の10年間とします。

また、このプランに基づき策定する事業別整備計画等の関連計画については、「中期財政運営方針」を踏まえ、令和3年度から令和7年度の5年間の計画期間とします。

なお、これらの計画期間中に、大規模な災害が発生するなど、プラン及び関連計画の推進に大きな影響を与える状況変化が生じた場合には、必要に応じて見直しを行います。



《参考》「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の概要

新たな広島県づくりを推し進めるため、令和2年10月に策定したビジョンの概要は次のとおりです。

《基本構成》

本県の最上位計画（総合計画）として、20～30年後のあるべき姿を構想した上で、次の10年間（～令和12年度）における目指す姿とその実現に向けた取組の方向性を描き、これを実現するための「17の施策領域」を示したものの。

《基本理念》

将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

《目指す姿》

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

《目指す姿の実現に向けた基本的な考え方》

（1）県民の挑戦を後押し

- ① 県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる
- ② 県民の『誇り』につながる強みを伸ばす
- ③ 県民一人一人の夢や希望の実現に向けた『挑戦』を後押し

（2）特性を生かした適散・適集な地域づくり

- ① 県全体の発展を牽引する魅力ある都市の形成
- ② 自然豊かで分散を生かした中山間地域の形成
- ③ 利便性の高い集約型都市構造の形成

